

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西川浩司
 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,882	37.1	184	—	187	—	112	—
25年3月期第2四半期	2,103	△33.2	6	△96.1	8	△95.0	3	△96.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	20.67	—
25年3月期第2四半期	0.64	—

(注)当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,326	59.0	3,141	59.0		
25年3月期	5,242	58.0	3,041	58.0		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,141百万円 25年3月期 3,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の1株当たり配当額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,414	1.0	201	4.7	204	2.0	120	0.0	22.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,500,000 株	25年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	51,149 株	25年3月期	51,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,448,887 株	25年3月期2Q	5,448,900 株

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした新政権の経済政策等による円安傾向と株価の回復基調を背景に、企業収益は改善方向に進み、国内景気は緩やかながらも回復しつつあります。一方海外では、欧州経済が低迷し、中東情勢が緊迫するなか、新興国経済の減速感なども加わり、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社では、自動車部品製造企業向けのF A装置(F A : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。)等の売上高が堅調に推移しました。また、フラットパネルディスプレイ(以下、「F P D」という。)業界向けの大型カスタムクリーンブースやアルファフレームシステムによるF A装置等の筐体といった大型構造物の案件も堅調に受注し、生産状況は活発に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、2,882百万円(前年同期比37.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は184百万円(前年同期は営業利益6百万円)、経常利益は187百万円(前年同期は経常利益8百万円)、四半期純利益は112百万円(前年同期は四半期純利益3百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造物の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、付加価値の高さを認めていただいた顧客からの新規引合い・受注が増加するとともに、これまでの材料・部品としての納品から、構造物へと組み立てた状態で納品する案件も増加いたしました。またF P D業界に関しても引き続き大口案件の受注が好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,432百万円(前年同期比82.0%増)となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、継続的に自動車部品製造企業向けのF A装置等の受注を確保いたしました。またF P Dに関連する製造設備向けクリーンブースや工作機械に組み込まれるアルミ構造物の受注も概ね予定通りに推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は952百万円(前年同期比40.2%増)となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品の売上高が、前事業年度の下半期より伸び悩む状況が続いております。さらに当第2四半期累計期間は、主要取引先からの生産機械設備の受注が低調な状況で推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は497百万円(前年同期比21.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ84百万円増加し5,326百万円となりました。これは主に、電子記録債権が109百万円、投資有価証券が57百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が71百万円、受取手形及び売掛金が14百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ14百万円減少し2,185百万円となりました。これは主に、電子記録債務が385百万円、未払法人税等が66百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が469百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ99百万円増加し3,141百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上112百万円があった一方で、配当金の支払い49百万円があったことにより、利益剰余金が63百万円増加し、投資有価証券の時価の上昇により、その他有価証券評価差額金が35百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ71百万円減少し、601百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の474百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は39百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税引前四半期純利益187百万円の計上、未払消費税等の増加による資金の増加額34百万円などの資金の増加があった一方で、売上債権の増加による資金の減少額93百万円、たな卸資産の増加による資金の減少額13百万円並びに仕入債務の減少による資金の減少額83百万円などの資金の減少があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の26百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は62百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が41百万円、無形固定資産の取得による支出が6百万円、保険積立金の積立による支出が11百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の65百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は48百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、配当金の支払いによる支出があったことなどが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,900	601,554
受取手形及び売掛金	2,288,496	2,273,949
電子記録債権	—	109,208
商品及び製品	141,666	138,521
仕掛品	147,161	152,701
原材料及び貯蔵品	249,296	260,577
その他	62,323	50,794
貸倒引当金	△221	△219
流動資産合計	3,561,623	3,587,087
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,444,256	1,444,256
減価償却累計額	△916,626	△933,008
建物（純額）	527,630	511,248
土地	456,904	456,904
その他	652,732	671,989
減価償却累計額	△479,989	△479,980
その他（純額）	172,743	192,009
有形固定資産合計	1,157,278	1,160,161
無形固定資産	10,828	15,309
投資その他の資産		
その他	514,050	565,773
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	512,400	564,123
固定資産合計	1,680,507	1,739,594
資産合計	5,242,130	5,326,682

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,861,129	1,391,237
電子記録債務	—	385,914
未払法人税等	14,002	80,210
賞与引当金	42,894	42,917
その他	97,046	102,031
流動負債合計	2,015,072	2,002,312
固定負債		
退職給付引当金	141,632	146,366
その他	43,569	36,793
固定負債合計	185,202	183,160
負債合計	2,200,274	2,185,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,725,410	2,789,023
自己株式	△34,410	△34,423
株主資本合計	2,993,199	3,056,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,656	84,409
評価・換算差額等合計	48,656	84,409
純資産合計	3,041,855	3,141,209
負債純資産合計	5,242,130	5,326,682

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
売上高	2,103,061	2,882,809
売上原価	1,678,346	2,263,350
売上総利益	424,714	619,458
販売費及び一般管理費	418,022	435,138
営業利益	6,692	184,320
営業外収益		
仕入割引	1,111	1,760
その他	1,009	1,238
営業外収益合計	2,121	2,999
営業外費用		
売上割引	36	6
営業外費用合計	36	6
経常利益	8,776	187,312
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益	8,776	187,312
法人税、住民税及び事業税	1,215	79,454
法人税等調整額	4,043	△4,794
法人税等合計	5,259	74,659
四半期純利益	3,517	112,653

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,776	187,312
減価償却費	40,433	40,791
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,159	23
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,045	4,734
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△5,508	1,215
受取利息及び受取配当金	△178	△234
売上債権の増減額（△は増加）	2,815	△93,880
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,673	△13,677
仕入債務の増減額（△は減少）	△300,770	△83,977
未払消費税等の増減額（△は減少）	△52,220	34,227
その他	△59,481	△23,111
小計	△362,577	53,421
利息及び配当金の受取額	119	102
法人税等の支払額	△111,906	△14,213
法人税等の還付額	—	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	△474,364	39,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4,000	—
有形固定資産の取得による支出	△11,831	△41,407
無形固定資産の取得による支出	△3,750	△6,741
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
保険積立金の積立による支出	△11,508	△11,508
その他	△535	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,025	△62,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△13
配当金の支払額	△65,026	△48,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,026	△48,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△565,415	△71,346
現金及び現金同等物の期首残高	1,059,305	672,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	493,889	601,554

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	1,445,618	180.7
装置部門	952,105	140.2
合計	2,397,724	162.1

（注）上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高（千円）	前年同四半期比（%）
商事部門	工業用砥石	73,020	91.7
	機械設備	124,771	51.9
	工具・ツール・油脂類	229,934	100.8
合計		427,726	78.1

（注）上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	1,328,663	181.2	203,389	249.2
装置部門	1,270,980	172.6	421,023	128.3
商事部門	694,744	114.7	286,157	98.8
合計	3,294,387	158.7	910,569	130.2

（注）上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	1,432,849	182.0
装置部門	952,105	140.2
商事部門	497,854	78.2
合計	2,882,809	137.1

（注）1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期累計期間		
	販売高（千円）	割合（%）	前年同四半期比（%）
キヤノン株式会社	862,051	29.9	385.6

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。